

ウェルネスシップを目指して



特定医療法人社団育成社 佐々木病院

<http://www.yha-net.jp/sasaki/>

★昭和2年個人医院として開業以来、今年で83年を迎え、保健・医療・介護の連携した地域サービスの構築を目指している病院です。内科・スポーツ整形・リハビリのほか眼科などの診療科目があり、より良い地域医療によって“最高の健康状態”を目指しています。

★性別・年齢・雇用形態に関係なく、技術があれば働くことができる職場です。高齢者の雇用創出として、送迎、清掃、営繕への積極採用を実施しています。定年後の看護職1人が再雇用で働いているという実績もあります。

★平成9年から院内保育室として「夢パンダ保育園」を設置しました。設置当時の院長の「子どもを伸び伸びと保育してほしい」という考えを受けた園長が、年齢別の保育や質の高い家庭的な保育を実践しています。利用する看護師の満足度も非常に高くなっており、結果として優秀な人材の定着につながっています。子どもを2人以上預ける場合は、1人分の保育料を半額にすることで、利用者負担の軽減も図っています。また、研修時にも保育園に預けることができ、安心して研修に参加することができます。

★短時間の労働でも勤務可能な体制を作り、働くきっかけとして週2回からスタートする看護師もおり、希望があれば徐々に勤務日を増やしています。また、夜勤専従で常勤者も採用しています。

★職員の親睦のために、毎年創立記念日には、病院が費用を全額負担して社員旅行を実施しています。その際に永年勤続表彰（在職中は5年おきに実施）を行うことで横のつながりを保ち、職員の定着に努めています。



病院の外観



夢パンダ保育園の子どもたち



いきいきと働く看護師たち

佐々木院長のお話

心身ともにいい状態(ウェルネス)を維持することで、患者さん・地域の方々・職員の信頼関係(ウェルネスシップ)を築くことを理念に掲げています。

地域の4病院で連携して潜在看護師の活用に取り組んでいます。核家族化が進み、子どもを育てながら働きたいという看護師のニーズから、看護師確保のために保育園を整備しました。質の高い保育を提供することで、預ける側も安心して働くことができます。

これからは、仕事の効率化のために医療事務全般のIT化の推進や、男性の育児休業取得にも取り組んでいきたいと考えています。

看護師(女性)の声

小学1年生と年長児の2人の子どもがいます。2人とも0歳から6歳まで夢パンダ保育園を利用しました。下の子は喘息もちですが、発作が起きた際にも、近くなので同僚に了承をとって様子を見に行くことができるので安心でした。保育園での教育方針がとても素晴らしく、この保育園に子どもを預けることができ良かったです。本当に働き続けたいと思える職場です。